



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第295号

2016年11月28日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

広がる格差と貧困、増える生活保護世帯

「アベノミクス」によって格差と貧困が広がっています。八千代市では生活保護を受給する方、とくに高齢者の方が急増しています。八千代市の8月の生活保護受給世帯数は1,544世帯、2,049人です。人員の対前年同月比で101.54となっています（千葉県「生活保護速報」）。

それでも生活保護基準未満の収入や資産で暮らす世帯で、生活保護を実際に受給している世帯は、20%程度にとどまっています。



八千代市の生活保護類型別世帯数

	高齢者	母子	障害	傷病	その他	医療単給
単身世帯	712		185	194	118	100
二人以上	89	79	25	66	64	4
合計	801	79	210	260	182	104

(註) 県生活保護速報8月から作成。「医療単給」は医療費だけ単独で給付を受けている世帯。

異常に低い八千代市の通院移送費

「通院移送費が適切に支給されていないのではないか」という意見が市議団にも寄せられました。通院移送費は、生活保護受給者が通院する際に必要な交通費です。

八千代市とほぼ同規模の県内自治体の通院移送費支出件数をみると、八千代市513件、習志野市8,196件、流山市13,122件、佐倉市1,866件となっています（千葉県資料）。八千代市の移送費が異常に低いことが分かります。

各自治体で作成している「生活保護のしおり」に、通院移送費の掲載があるか否かを調査したところ、佐倉市、浦安市、船橋市などで掲載していますが、八千代市では記載されていませんでした。

保護行政の統一した運用にむけ県が研修会

9月議会で通院移送費の適切な運用改善について質問しました。千葉県と交渉の際にも「通院移送費の実態を掌握して各自治体を指導するよう」求めました。千葉県は生活保護行政が各自治体で運用がバラバラになっているとの指摘をうけ、12月に各自治体の担当者を招集し研修会を開催する計画です。

12月議会のお知らせ

会期 11月30日～12月22日、
2016年度一般会計補正予算案、
副市長の選任など23議案を審議する予定です。